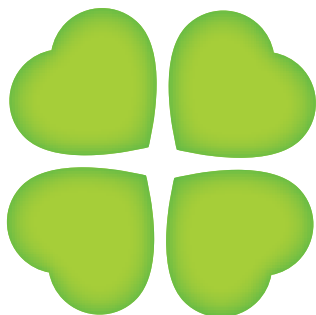




October 2009

創刊号

埼玉医科大学国際医療センター がん情報

特集 緩和ケア

埼玉医科大学国際医療センターでは、患者さん・ご家族・住民の皆様にご関心のあるがんに関するあらゆる情報を集め、少しでも皆様に役立つ情報を発信して行きます。皆様の健康のために、この「がん情報」を上手く活用していただけることを願っています。





現在、「がん」は日本人の命を奪う最大の病です。厚生労働省の統計では死亡原因の1/3を占めます。一方で、がんは予防可能な病気でもあります。禁煙をし、健康的な食生活を送り、適度な運動をすれば、「がん」による死亡の1/3前後は防げるはずで、治療も進歩しております。我が国では、早期に発見できれば、多種類のがんを全部ひっくるめた全がんの5年生存率は80%以上にまで上がっております。

しかし、全てのがんが早期に発見できるとは限りません。また、がんの種類や場所（臓器）により治療に苦勞するがんがあります。その場合、がん治療は長い戦いとなります。当院のがん治療医（腫瘍外科医、腫瘍内科医、放射線腫瘍医）は、手術、抗がん剤、放射線治療などを駆使して治療にあたります。その過程で、がんになった方々はさまざまな身体的、精神的苦痛におそわれます。それらの苦痛を和らげることも我々の重要な役割であり、緩和医療科や精神腫瘍科のスタッフが担当いたします。医療情報の提供や闘病の間の社会的、経済的な問題には「がん

相談支援センター」のソーシャルワーカーが相談に応じます。がんをはじめとする病気に関する書物や資料は3階のラーニングセンター（患者図書室）に揃えてあります。このように我々治療チームの務めは、がん罹患された方々



に最も適切な治療を行い、同時に治療に伴う種々の問題にも支援することです。しかし、これだけではがん治療は成功しません。我々の努力に加えて、皆様の協力が必要です。がんを知り、治療のやり方や効果（および副作用）を知っていただければ、苦痛を伴う治療や長い入院期間も、先にある勝利を目指して乗り越えていただけます。

この小冊子は、皆様に当院で行っているがんとの戦いを紹介し、その内容を理解していただき、皆様が我々と共にがんを戦って下さることを目的に発行いたしました。皆様の御協力をお願いいたします。



緩和ケアについて

2007年4月に施行されたがん対策基本法に基づいて、その2ヵ月後にがん対策推進基本計画が閣議決定されました。緩和ケアをがんの治療の早期から、とか初期段階から行いましょう、と国が音頭をとってくれて、やっとわが国でも緩和ケアという言葉が「終末期ケア」だけを意味するのではないと、一般の方々にも知られるようになりました。言い換えれば、緩和ケアはがんを診断がついたときから治療するまで、あるいは最期を迎えるまで、再発の有無やがんの治療を受けている・いないに関わらず、つらい症状をお持ちの患者さんの希望に応じて提供されるべきもので、患者のみならず、患者を支える家族もその対象であるとされています。

少し具体例を挙げましょう。がんを診断された方が病院を初めて受診した時の症状を調べてみると、約3割の方が痛みを訴えられています。この痛みに対処することがまず緩和ケアとなります。また、がんという「診断」が告げられたときに、精神的になかなか立ち直れない方には心のフォローが必要です。これも大切な緩和ケアです。さらに、「がんの治療」の3本柱といえば、手術、放射線治療、抗がん剤治療

（化学療法、あるいは薬物療法ともいいます）ですが、手術の後にはキズ（手術創）が痛み、放射線をあてればそこがヤケドをしたように赤くヒリヒリしてくるし、抗がん剤を使えば吐き気や食欲低下、白血球が減って熱が出やすくなる、などの後遺症や副作用を軽くすることも緩和ケアに含まれます。



そして、残念ながら病気が進んで終末期に近づいてくると、だるい、食べられない、痛いなど種々の症状を多くの患者が訴えるようになります。この時期の症状を和らげることをこれまでは緩和ケアと称していましたが、それは非常に大切な緩和ケアなのですが、緩和ケアが終末期に限ったことではないことは冒頭に述べたとおりです。

このような緩和ケアについてもう少し知りたいな、と思われたら、ぜひ当院の「がん相談支援センター」においでください。



緩和ケアチーム紹介

当院に入院されている患者さんのからだや心のつらい症状を、患者さんの状態にふさわしいチームスタッフが中心となって、少しでもその症状を和らげられるように、主治医と病棟の看護師とともに工夫していきます。病気の進み具合は一切関係ありません。またご家族の負担も軽くできないかどうか、一緒に考えていきます。痛みだけではなく、さまざまな症状とつらさの相談に応じています。

*からだのつらさ

痛み 吐き気 息が苦しい 眠れない

*心のつらさ

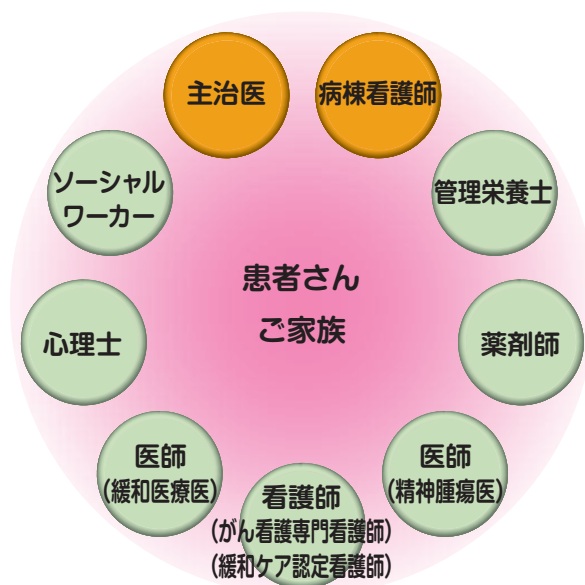
気分が落ち込む イライラする
気持の整理がしたい 話がしたい

*ご家族のつらさ

どう接したらいいか 話をしたい
患者さんの相談

緩和ケアチーム 緩和ケア認定看護師 塩井 厚子

緩和ケアチームをご希望される方
希望を主治医・看護師に伝えて下さい。



リレーフォーライフに参加して

秋らしい晴天のもと木々と芝生の緑にかこまれた水上公園で、リレー・フォー・ライフ川越が開催されました。私はがん看護専門看護師の立場から、所属する病院のがん相談支援センターのメンバーとともに、がんサバイバーの方やそのご家族の悩みなどに対応する相談員という役割で参加いたしました。数人の方からの相談をお受けしたことから、病院内にとどまらず、このような気軽に相談をできる場所、機会を地域で開くことで、相談員がみなさまのよりよい生活に貢献できるのではないかと考えさせられました。今後開催されるリレー・フォー・ライフでは、どのようにしたらみなさんのより身近な相談を受けられるかを工夫することを課題とし、パワーアップした相談員として参加したいと思います。

相談員としての役割はさておき、私は一市民としてもリレー・フォー・ライフを楽しむことができました。笑顔ではつらつとしたトラック歩行、私もみなさんと歩いてみてとても爽やかな気持ちになりました。それはみなさんと支えあいながら生きているというものを実感でき、改めて人とのつながりや一体感を感じ取ることができたからだと思います。ルミナリエは、夜に映える光の美しさとともに、その灯りひとつひとつに市民のみなさんのつづられた思いを知ることで胸が熱くなりました。

がん看護専門看護師 森田公美子

今回のリレー・フォー・ライフの体験を活かし、次回はさらに多くの方たちとのかかわりをもち、楽しく活気あふれるイベントになるよう、みなさんとともに盛り上げていきたいと思います。



リレーフォーライフとは、がんに関する市民への啓発を目的とし、地域の人々が闘病生活について語り合い、がんで亡くなった方を振り返り、がんの早期発見や予防について学ぶことを目的に開催されています。



がん相談支援センターにご相談ください

がん相談支援センター ソーシャルワーカー 御牧 由子

「がん相談支援センター」では、がん医療に関する情報の提供、療養生活の相談にお応えしています。2009年10月3日現在、全国に375ヵ所のがん診療連携拠点病院があり、各病院に「がん相談支援センター」が設置されています。当センターは当院で治療を受けているかどうかに関わらず、地域の方々どなたでも無料で利用できます。

こんな時にがん相談支援センターを活用してください。がんについて知りたい、納得してがんの治療を受けたい、セカンドオピニオンについて知りたい、自分の考えを整理したい、医療費や生活費のことが心配、退院後の療養生活や転院について不安、入院中の療養環境や外来の通院方法について相談したい、仕事や学校などの社会生活、家族の生活について相談したい、話を聴いて欲しいなど、がんに関わる様々な情報の提供や相談を行っております。



がん相談支援センター
総合相談支援センターの相談員

ご利用方法

相談日：月曜日～土曜日（日曜・祝日、年末を除く）

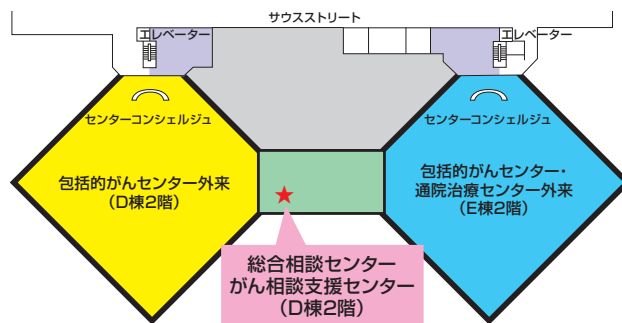
時間：9：00～17：00

対象：患者さん、ご家族、地域の方々、地域の医療機関や保健・福祉・介護等の関連機関

場所：D棟2階

電話：042-984-4329（直通）

事前にごがん相談支援センターにお電話いただき、相談日時をご予約ください。お急ぎの場合は直接おいでいただくか、医師、看護師、当院スタッフまでお申し出ください。なお、お電話でのご相談も承ります。



埼玉医科大学国際医療センター

がん情報

October 2009 創刊号

編集・発行 埼玉医科大学国際医療センター

包括的がんセンター

〒350-1298 埼玉県日高市山根1397-1

<http://www.saitama-med.ac.jp/kokusai/index.html>

編集責任者 佐伯 俊昭

発行責任者 松谷 雅生

発行日 平成21年10月1日

※本紙記載の写真・記事の無断転載および、複写を禁じます。

基本理念：患者中心主義のもと安心で安全な満足度の高い医療の提供をし、かつ最も高度の医療水準を維持する。

使命：当センターは、埼玉県全域を範囲とし、がん、心臓病に対する高度専門特殊医療に特化し、かつ高度の救命救急医療を提供する。

基本方針：患者中心主義（patient-oriented）を貫き、あらゆる面で“患者にとって便利”であることを主眼とし、患者ひとりひとりにとって最も適切な医療を提供する。



当センターは、紹介・予約制です。